

数学専攻博士後期課程履修モデル

平成29年4月1日

		講義		研究指導
		社会性・国際性を養う科目群		指導教員による指導制
科目区分				
研究の中心領域	倫理観・社会への応用・環境・安全性等を学ぶ科目	数学系の先端的研究を国際性も含めて広い視野で幅広く学ぶ科目		
代数学	数学研究概論(1単位)(1年)	「大学院数学連絡協議会」加盟11校相互の講義の聴講・単位互換制度 津田塾大学、中央大学、学習院大学、上智大学、国際基督教大学、明治大学、日本大学、日本女子大学、立教大学、東京女子大学、東京理科大学		◎代数学／幾何学／解析学／確率・統計研究(一) (10単位)(1年)
幾何学				◎代数学／幾何学／解析学／確率・統計研究(二) (10単位)(1年～3年)
解析学				◎代数学／幾何学／解析学／確率・統計研究(三) (10単位)(1年～3年)
確率・統計				◎ 選択必修科目
				1年 先行研究の調査 最終目標の設定 研究計画立案 研究活動・研究室ゼミ
	2年 自立的研究活動・研究室ゼミ 国内外での学会・シンポジウム等で発表・意見交換 学術論文作成・投稿			
	3年 自立的先端研究活動・研究室ゼミ 国内外での学会・シンポジウム等で発表・意見交換 学術論文作成・投稿 博士論文作成、公聴会での発表、学位審査請求、提出、学位取得			
修了後の進路	大学のポストドクトラルフェロー・教員 中学高等学校教員 企業(金融、情報関連他)等の開発技術者・研究者 公務員 他			